

2016年度

安全報告書



山形鉄道株式会社

安 全 報 告 書

(平成 28 年度)

1. お客様はじめ沿線住民の皆様へ

平素は、山形鉄道フラワー長井線をご利用いただき、誠に有難うございます。

当社は、沿線 2 市 2 町（長井市、南陽市、白鷹町、川西町）を繋ぐ交通手段として、安全・安定輸送を最優先に考え、お客様に安心してご利用いただけるよう努めております。

当社の安全へ取組みは、社員の公募により決定した「安全と笑顔を乗せて未来へつなぐ」という安全スローガンを掲げ、鉄道輸送の使命である安全輸送がお客様への最大のサービスあることを社員一人ひとりが認識し、安全輸送に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。皆様のご意見をいただければと思いますので宜しくお願い申し上げます。

山形鉄道株式会社

代表取締役社長 内 谷 重 治

2. 安全に対する基本方針

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は「輸送の安全確保」です。「安全の基本方針」に行動規範の「安全綱領」を加えると共に、スローガンを掲げ、社長以下全社員に周知し取り組んでおります。

(ア) 安全の確保は輸送の生命である。

(イ) 規程の遵守は安全の基礎である。

(ウ) 執務の厳正は安全の要件である。

(エ) 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取扱いをする。

(オ) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をする。

(カ) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

(キ) 常に問題意識を持ち、必要な改善に挑戦する。

(2) 安全目標

鉄道輸送安全目標（平成 26 年度～平成 28 年度）は、次のとおりです。

区 分	項 目	内 容
目 標	列 車 事 故	乗客の死亡を伴う事故を 3 年間、発生させない。
	人身障害事故	3 年間の発生件数ゼロとする。
	踏切障害事故	3 年間の発生件数を 1 件以下とする。

3. 事故等の発生状況

(1) 【列車・人身事故】発生は、ありませんでした。

(2) 【踏切障害事故】発生は、ありませんでした。

なお、過去5年間の踏切事故の発生件数と死傷者数の推移は、次のとおりです。

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事故件数	0	1	0	0	0
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(3) 輸送障害の発生状況

(ア) 自然災害（地震や暴風雨、豪雪など）による運休又は、30分以上の遅れが発生した件数及び本数は、以下のとおりです。

災害種別	運休内訳					30分以上の遅延内訳				
	風害	雪害	雨害	震害	雷害	風害	雪害	雨害	震害	雷害
件 数		1	1	1		3	2	0	0	0
本 数		10	4	4		3	3	0	0	0

・30分以上の遅延件数は、運休件数と重複する件数を除きます。

(イ) 車両不具合による運休が2件発生しました。

(ウ) 踏切支障の発生件数

※ 単位；件

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
遮断桿折損	17	10	9
支障装置いたずら	3	4	4
その他の事象	0	0	1

(4) インシデントに該当する事案は、ありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 「安全と笑顔を乗て未来へつなぐ」を新たな安全スローガンを掲げ、“安全”という意識の充実を図ります。

(2) 踏切事故ゼロをめざして

(ア) 営業車・工務車両に「踏切事故防止運動中」のプレートを貼付け、広報活動を行なうほか、踏切2箇所では踏切事故防止キャンペーンとして踏切事故防止グッズ及びポケットティッシュを

配布し事故防止の啓蒙を図りました。

(イ) 駅構内にポスターを掲示し意識の高揚を図りました。

(ウ) 山形県踏切事故防止対策委員会の協力により民間ラジオ放送で冬季踏切事故防止キャンペーンの広報を行いました。

(3) 教育訓練関係

- ・ 車両保守における技術継承検修会及び鉄道保線技術研修会などの各外部協会主催等の研修会に若手社員を参加させ鉄道技術の習得向上に努めました。
- ・ 車両故障を想定して四季の郷～荒砥間で伝令法取扱い実車訓練を実施し、取扱い確認と早期復旧の習熟に努めた。

(4) 安全のための支出

国土交通省の平成 28 年度地域公共交通確保維持改善補助事業を活用し施設の安全対策、軌道整備並びに車両の定期点検（全般検査）2 両を実施しました。各事業費は、以下のとおりです。

(ア) 地域公共交通確保維持改善事業

地域公共交通確保維持改善事業	総 額
① 踏切保安設備更新（遮断機・警報機）	7 7 4 万円
② 連動装置更新（転てつ機）	2 4 5 万円
③ 線路設備（PCマクラギ化）	1, 5 7 0 万円
④ その他設備（ラッセル車）	4 1 万円
⑤ 車両定期点検整備（全般検査 2 両）	4, 2 5 8 万円

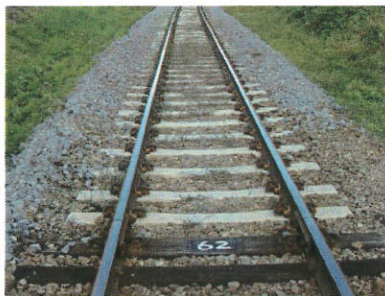
① 踏切警報機・遮断機更新（第 2 竹原踏切及び第 3 漆山） ② 連動装置更新（転てつ機）



③ 軌道整備費（PCマクラギ化）

今泉（白川）～時庭（13k997m～14k192m）

蚕桑～鮎貝（25k936m～26k269m）



④ その他設備（ラッセル車）



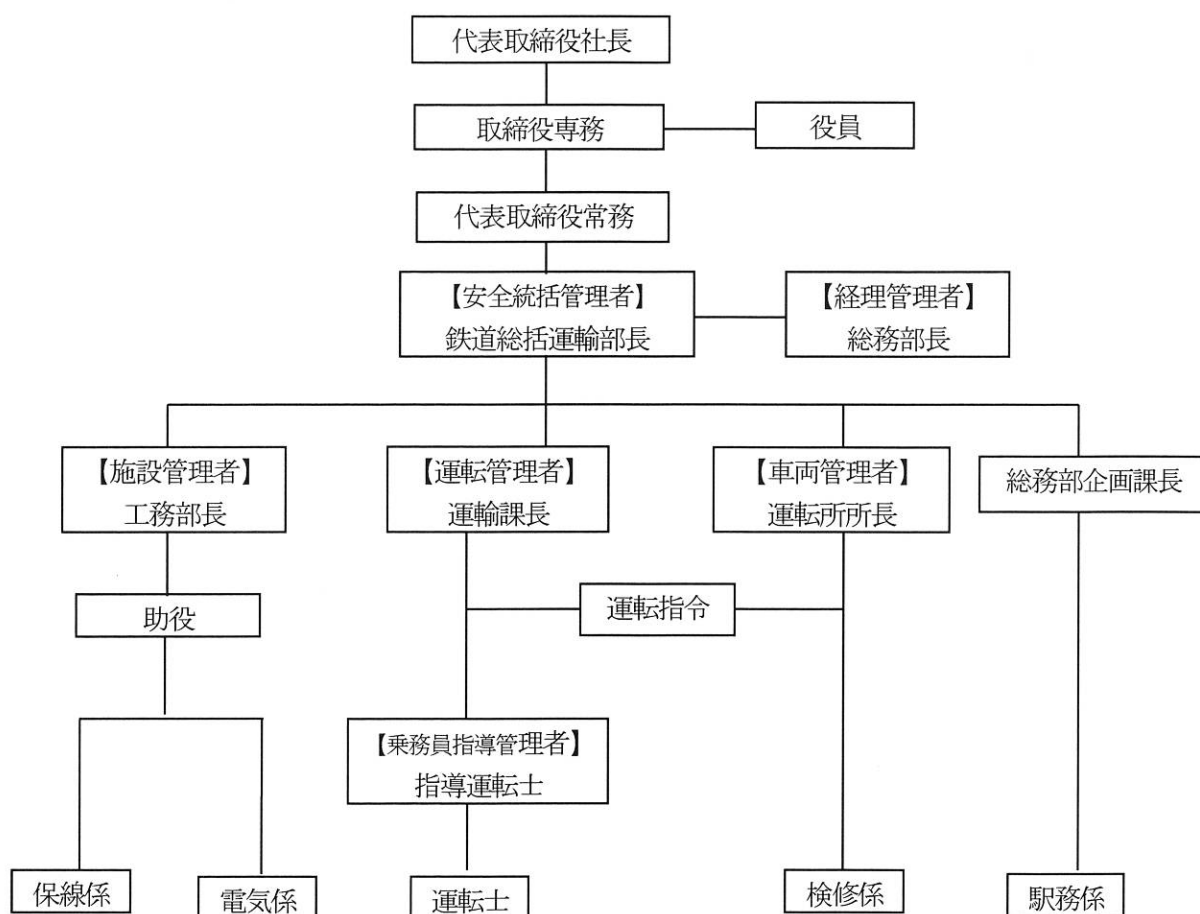
⑤ 車両定期点検整備（全般検査 2 両）



5. 安全管理体制

（1）安全管理組織

弊社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で安全統括管理者、運転管理者、施設管理者、乗務員指導管理者等がそれぞれの責任を明確にした上で、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道総括運輸部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 輸 課 長 【運転管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
指導運転士 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
運 転 所 所 長 【車両管理者】	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工 務 部 長 【施設管理者】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
総 務 部 長 【経理管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運輸の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する事項を統括する。

6. 利用者・住民の皆様との連携のお願い

長井駅及び宮内駅の旅客通路は歩行者専用です。自転車で通行することはできません。ご理解とご協力をお願いします。

7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

【お客様ご案内窓口】

山形鉄道株式会社

Tel;0238-88-2002

FAX ; 0238-88-5187

E-mail ; yr-inf@flower-liner.jp